

あけましておめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

会員諸氏におかれましてはご家族おそろいで新年をお迎えのことと存じます。里山の会は「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」とのスローガンを掲げて活動を進めております。1996 年に結成発足して 23 年目を迎えております。この間には絶滅とされていたレンリソウの発見、そして京都府が指定する絶滅の恐れがある生き物と指定されているフナバラソウ、カスミサンショウウオの発見によってその保全管理団体とされております。また国土交通省近畿地方整備局から河川協力団体として認証を受けて、木津川希少種生育調査管理業務の発注をいただき、917 種の植物の保全と生育保全に努めております。

そして木津川河川レンジャーの活動を支えております。ここ数年、京都大学と連携協力しながら木津川における河床低下問題への取り組みである、竹蛇籠の製作やその技術を生かした中聖牛の設置を担い 2 年連続 6 基の設置を行い、跳ね水効果の検証に取り組んでいます。

今年はこうした官学民が共同した取り組みの推進と加えて、結成 25 周年(2021 年 5 月)記念を次年に迎える年にあたります。25 周年をどのように迎えるのか、企画内容の確定が重要な課題と考えられます。

また社会全体の大問題の老齢高齢化の波は否応なくひっ迫しており対応が急がれます。いずれにしても体力の低下は避けることができないもので、定番事業を推進しつつ、さらに「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンの実現に向かって全力を発揮することが必要です。

京都府地域力再生プロジェクト事業、及び木津川希少種植生調査管理業務、中聖牛の本格研究事業への協力、夏原グラントへの活動支援助成金事業への取り組みなど、ますます多忙となりそうです。人手不足をどのように補って行くのかが問われています。会員各位の大きなご協力が何としても必要で、新人獲得に満身の力を絞り出さなければならない新年であります。

諸課題に挑みつつ、これまで積み上げてきた観察調査と、それらの資料と成果の発行、社会への還元に力を注ぎます。加えて従来実行してきた諸イベントへの参加者増加対策と企画内容のさらなる改善を進めなければなりません。

永年、NP0(特定非営利活動団体)の根幹である財政部門で会計として基礎部分で支えてきた深田三郎様の今期での退任表明は 83 歳というご高齢でもあり、やむを得ない事態であり、無理じいはいけません。若手の担い手を早期にお願いし、スムーズな世代交代を計らなければなりません。課題満載ですが、理事 12 名社員 28 名力を合わせ、160 人会員の先頭に立って奮闘いたします。旧年に倍してご協力をお願いいたします。

写真説明 2015 年に木津川 15.2 km 地点の兩岸に竹蛇籠を 15 本作製し、3 本 1 組に 5 基を設置し 6 基目を

竹柵工として魚の棲み処を目指しました。写真は、2017 年 12 月に中聖牛を同地点に 3 基の中聖牛を設置しました。そして昨年（2018 年）12 月 16 日に中聖牛増設 3 基を完成させることが出来ました。

●餅つきとしめ縄づくり 25 日 13 人の出席 意義や目的を議論しなくても既設の取組みとして里山の会の定番行事としています。いつものように参加人数を把握することなく、見込みで行っても、そこそ形が整います。全会員に連絡をすることにして、週刊ニュースとホームページで広報しました。十分徹底できていないのか、声が届いていないのだろうと思いますが、飛躍した取り組みになりにくいようです。それでも注連縄政策は熱が入って年末の楽しい時間でした。餅つきは手慣れたもので、臼ときねと米が準備出来れば、あとは蒸し作業、つきあがると丸め、そこそこできると、搗き立てを頂きました。

●木津川希少種植生調査管理業務の 36 か所の除草が完了 年末に全域を調査すると、業者が刈残した場所があちらこちらに目立ちました。国交省の受託作業内容は 27 か所との指示でした。しかし数えてみると 36 か所が刈残されていて、その場所には杭が建てられており中にはロープが張られ残っていました。面積にすると約 1000 m²になります。これを全部刈残さずに除草しました。

●京田辺の最高峰に登ろう、尾根筋ハイキングの年末清掃を実施 26 日 このコースを設定したときは打田薪炭組合の皆さんが元気でバリバリと炭焼を実施していた時に、このコースが話題になり、京田辺市の最高峰は千鉾山 311m で通称甘南備山 211m を 100m も高いということがわかり、コース点検で歩くと 7.5 km 3 時間で土地所有者が近畿地方に分散されていました。この土地所有者を訪ねてルート上の使用許可を得て実現したもので、最初の計画でオオタカの営巣が近くにあるとのことから、やむなく変更を行い、少し魅力が減少したものです。開通にあたって、高船区から農作物の盗難、ハイカーのゴミの対策をどうするのかと意見があり、年末に清掃をすることを約束して実現できたものです。

●新年初イベント 6 日(日)「新春の七草摘みと七草かゆ」雨天決行で実行します。

●丹波の黒豆味噌づくり参加者募集 20 日(日) 製作希望者(5 kg:6500 円)も募集中
福知山市夜久野町 堀島農園(昭和のコメ作り日本一の天皇賞受賞農園)